



2018年3月19日
株式会社 ZMP

宅配ロボット CarriRo Delivery 品川港南エリアで 人とロボットの共生社会に向けた社会実装の実証実験に技術協力 ーオフィス街を自律走行し商品を目的地まで運搬。周囲とのコミュニケーションを実験ー

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、宅配ロボット CarriRo[®] Delivery と、株式会社電通国際情報サービスのオープンイノベーションラボと東京大学暦本研究室が共同開発した遠隔コミュニケーションデバイス「TiCA(チカ)」を組み合わせて、オフィス街を自律走行する実証実験に参画、技術協力をいたします。実験は、3月20日(火)・22日(木)・23日(金)の3日間、品川港南エリアにおいて実施されます。

ZMP は、自動車の自動運転技術開発で培った自律移動技術を応用して物流のラストワンマイルの課題解消や、日々の買い物を手助けすることを目指し、「歩道を自動で移動する宅配ロボット CarriRo Delivery(キャリロデリバリー)」を開発し、実証実験を進めています。CarriRo Delivery は宅配ボックスを搭載し、カメラやレーザセンサで周囲環境を 360 度認識しながら最大時速 6km で自動走行し、荷物を目的地へ届けます。

本実証実験では、品川港南エリアの複数の複合施設やビルにまたがる約 350m のルートを、TiCA を装備した CarriRo Delivery が自律走行し、商品(カップコーヒー)を目的地まで届けます。想定外の事象により走行困難となった際は、TiCA を用いて遠隔から周囲とコミュニケーションをとり、トラブル回避を図ります。



CarriRo Delivery

【実験概要】

内容: 宅配ロボットと遠隔コミュニケーションデバイスを用いた 2 拠点間の物品配送時における IoA の実装検証

場所: 品川インターシティ ~ 品川グランドcommons ~ 京王品川ビル間の通路

日時: 2018年3月20日(火)、22日(木)、23日(金)の各日 15:00~16:00 に走行

主催: 株式会社電通国際情報サービス (デバイス共同開発: 東京大学暦本研究室)

協力: 新日鉄興和不動産株式会社、品川グランドcommons、京王電鉄株式会社

技術協力: 株式会社 ZMP、日本マイクロソフト株式会社



CarriRo Delivery と遠隔コミュニケーションデバイスによる実証実験の仕組み



【宅配ロボット「CarriRo Delivery」について】

株式会社 ZMP が開発した CarriRo Delivery は、荷台部に宅配ボックスを搭載し、屋外を自動走行可能とした宅配ロボットです。周囲の環境を認識しながら歩道を走行し、荷物を目的地へ届けることを目指し、現在、実証実験用ロボットによる機能検証等を実施中です。

<http://www.zmp.co.jp/products/carriro-delivery>

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP 新規事業企画部 TEL: 03-5802-6901 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



RoboCar® 1/10



RoboCar® MV2



RoboCar® MiniVan



CarriRo®



CarriRo® Delivery

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカー(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®、③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020 年の無人タクシー実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017 年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Delivery の実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。